

### 安全管理体制強化し無災害へ

#### 宮坂建設工業 防災推進会議

宮坂建設工業（本社・帯広）は21日、札幌サンプラザで札幌支店防災推進会議を開いた。2016年度から宮坂寿文社長直轄の安全管理部門を置いて取り組みを強化することを確認し、無事故無災害を誓った写真。

協力会社含めて約360人が参加。冒頭、宮坂社長は「安全はお節介で取り組むことが重要。多少間違いがあったとしても、どんだん声を掛けていくことが基本」と指摘し、16年度から各部に安全長



を設けたことなどをあらためて示した。

続いて、札幌中央労基署の板倉満副署長が講話。15年度の労災発生状況を分析し、事故には、機械設備の不備、作業方法の問題、ヒューマンエラーといった大きく3つの原因があると説いた。

### 宮坂建設工業札幌支店が防災推進会議 “おせっかい”で安全に

#### 安全、品質管理体制を強化

##### 宮坂建設工業(株) (帯広) 真一。

の札幌支店（佐々木勝幸支店長）は二十一日、札幌サンプラザで二十八年度防災推進会議を開き、一年間の労働災害絶無を誓った写真とをささげた。



宮坂寿文社長はいさつで、同社の防災・品質保証部を本年度から社長直轄とするなど、安全管理体制を強化したことを説明。「おせっかいに、互いに声をかけることが安全の基本。おせっかいに動いて、話して、考えて実行したい」と現場での意思疎通の重要性を強調した。

そして、品質を確保して発注者の期待に応えるためにも「安全が大切。具体的に何をやれば事故が起きないのか、再度検証したい」と述べた。

同社札幌支店は従来の「安全研修会」を二十二年度から防災推進会議に切り替えた。

優秀協力会社、職長の安全表彰に続き、札幌中央労基署・板倉満副署長、札幌方面北警察署・屋代芳彦交

通官をはじめ、札幌市消防